

解 説



東海地方における品質工学の盛上がりと 田口玄一の思い出

*The Rise of Quality Engineering in the Tokai Region
and Memories of Dr. Taguchi*

阿知波 正之^{*1}

Masayuki Achiwa

高坂 慎治^{*2}

Shinji Kosaka

辻 千尋^{*2}

Chihiro Tsuji

花田 心次^{*3}

Shinji Hanada

松永 孝義^{*4}

Takayoshi Matsunaga

水本 瞳^{*5}

Hitomi Mizumoto

蜂須賀 智弘^{*6}

Tomohiro Hachisuka

中条 孝則^{*5}

Takanori Chujyo

細井 光夫^{*7}

Mitsuo Hosoi

(司会) 生駒 亮久^{*8}

Akihisa Ikoma

1. はじめに

司会 東海地方の品質工学研究会としては、2か月に一度計測機能研究会（以下MFRG）を開催しているが、最近品質工学が低調である。今回おいでいただいたのは、品質工学が熱かった頃ご活躍された方々である¹⁾。趣旨説明を細井さんをお願いします。

細井 品質工学の創始者である田口玄一氏（以下田口）を知らない、若い学会員が増えた。田口には伝説めいた話が多いが、実際に田口に接した方々の記録を残し、若い学会員に田口のすごさ、面白さ、品質工学の原点を知ってもらいたくて、編集委員の澤田位（元(財)日本規格協会、2019年10月16日逝去）がインタビューを企画した。すでに、田口伸さ

ん、中島建夫さん、鴨下隆志さんのインタビューを済ませたが、その中で田口が岐阜で活動していたという話が度々出てきた。今回はインタビュー第4弾として、岐阜のみなさんに貴重な話を聴かせていただくことを楽しみにしている。

2. MFRGの立上げと田口

阿知波 私の職歴は日本電装（現、デンソー）²⁾で品質管理部の計測の担当から始まり、今も計測の仕事が続いている。1976年、中部品質管理協会のQCベーシックコースの社内教育25日間に参加した。内容は、技術者向けの統計・実験計画法・工程管理で、田口の講義4日間を聴いたのが田口に会った初めてである。その時のテキスト（品質の管理）を読み返すと生産工程の工程設計、工程管理、予防保全、予測と制御、検査設計（臨界不良率）という内容であるが、細かいことは覚えていない。今でいうオンライン品質工学の話だった。検査設計では「検査は合格品には無力である」という田口の話聴いてその時点では「すごいなあ」というのは分かったが、中身は分からず、いろいろやってきて分かるようになった。その後、計測をやっていた関係で、SN比の通信教育を社内に導入することになった。

*1 阿知波計量士事務所

*2 三栄精工(株)

*3 元ムトー精工(株)

*4 元岐阜県職員

*5 富士電機(株)

*6 (株)マキタ

*7 (株)小松製作所

*8 元KYB(株)